

見る 聞く 触る 味わう かぐ

# 郷音

## AED講習



AEDの講習を受ける生徒たち  
—田原市の田原福祉専門学校で

心停止の初期段階で起る心室細動を電気ショックで取り除くAED(自動体外式除細動器)が昨年七月から、一般の人も使えるようになった。豊橋ハートセンター(豊橋市大山町)は今年、東三河の全市と渚美町に計二十八台を寄贈。生活の中で目にする機会も多くなった。万に備えて、田原福祉専門学校

# 音声指示、意外に簡単

の二年生二十人と一緒にAEDの講習を受けてみた。心停止者を見かけた場合、まず押さえておきたいのは、応急措置の手順だ。①一九番通報②人工呼吸③心臓マッサージ④AEDの使用となる。一九番の際には、救急車のほか、医師とAEDの手配も併せて連絡することが大切だ。

田原福祉専門学校の講習では、人形と練習用の機械が使われた。人工呼吸と心臓マッサージをしているところにAEDが届くとの想定。AEDを開け、本体の電源を入れた。すると、

「水分をとって人形にパットを張り付け、パットから伸びたコードを本体に差し込んだ。それからショックを与えるスイッチを押す。これを繰り返しているうちに到着した救急隊員にショックを二回与えたことを伝え、訓練は終わった。」

前もって教えられた、汗英理香さん(と)は「機械の使い方は意外に簡単だけを取り除くことを忘れていた。でも慣れればうまくいける。度度も練習しなくてもいい。でも慣れればうまくいける。度度も練習しなくてもいい。」と話した。

心室細動は二〇〇二年に高円宮さまが亡くなったことでも知られる。心室細動が発症してから一分経過することになって退院できる率は7-10%下がる。国内での救急車の到着時間は約六分とされるが、何もしないと半数近くが助からないという。

豊橋ハートセンターの寄贈によるAEDは、各公共施設に配備された。愛・地球博(愛知万博)や中部国際空港でもAEDが置かれている。あなたも一度講習を受けてみては?